

北朝鮮による拉致の可能性を排除できない人たちがいます。

秋田県関係特定失踪者5名



石田 清さん 当時26歳

失踪年月日：昭和44(1969)年9月末～10月初め頃

実家に稲刈りの手伝いに来て「明日も来る」と言っていたが、翌日来なかった。自宅アパートの隣の家に寝巻きが投げ捨てられており、電線（もしくは電話線）が切られていたことから、事件ではないかと警察に通報した。また日時は不明だが、二ツ井高校近くのバス停の鷹巣方面、藤里方面行き乗り場に立っていたという目撃情報もあった。



松橋 恵美子さん 当時26歳

失踪年月日：平成4(1992)年1月15日

祖母に「鷹巣に行ってくる」と告げて車で出かけたまま、その日は戻らなかった。友人の家に行ったのだろうと思っていたら、翌朝出勤していないことがわかる。家族で探したところ、能代市の海岸で車が見つかる。車内には身の回りのものが全て残っていた。北朝鮮にいるとの不確定情報がある。



薩摩 勝博さん 当時23歳

失踪年月日：昭和48(1973)年1月

失踪当時は農閑期だったため、勝博さんは出稼ぎで東京都杉並区の牛乳販売店に勤めていた。そこを頼っていた同じ村落出身の女性（能代市居住）としばらく同居していた。二人は結婚の意思を固め、失踪前夜に勝博さんの実家をそろって訪れるが父や親戚に反対される。その夜は実家に泊まり、翌朝「彼女を能代市内に送ってくる」と行ったまま戻らず、車も発見されていない。



木村 かほる 当時21歳

失踪年月日：昭和35(1960)年2月27日

戸籍上はかをるだが、日常はかほるとしていた。看護学校の卒業式を10日後に控えていた。「ちょっと出かけてくる」と寮の同室の友人数人に言って出て行ったきり戻らず。平成16年9月29日、青森県八戸署に告発状を提出。



佐藤 正行さん 当時27歳

失踪年月日：昭和61(1986)年10月29日

外食店で買い求めた弁当をアパート自室で食事中、部屋着の軽装で外出したまま行方不明。部屋には財布、自動車免許など一切の身の回りのものが残されていた。

**拉致被害者全員の
一日も早い帰国を!**

北朝鮮工作員の中には、秋田県からの出入りが認定された者がいます。

- ・ 第一次能代事件（昭和38年4月）
- ・ 第二次能代事件（昭和38年5月）
- ・ 男鹿脇本事件（昭和56年8月）

秋田県企画振興部国際課

TEL:018-860-1218 FAX:018-860-3874

E-mail : kokusaika@pref.akita.lg.jp

秋田県公式 Web サイト
美の国あきたネット

